

学習の流れが見える紙面デザイン

生徒に分かりやすく、先生には指導しやすいデザインを目指しました。
各節の紙面は、基本要素を学習の流れに合うように配置し、全ページで統一しています。

1 身の回りの材料と加工の技術

目標 ① □生活や社会を支えている材料と加工の技術を知る。
□身の回りの製品の材料と加工について調べ、まとめることができる。

レッツスタート ②

学習課題 ③ **材料と加工の技術にはどのようなものがあるだろうか。**

本文、図版 ④

生活や社会を支える材料と加工の技術

28 **技術の工夫** かまどベンチ 近年、災害時に役に立つ機能をもった公共物が増えています。その1つに「かまどベンチ」があります。かまどベンチは、ふだんは公園などで誰もが利用することができるベンチですが、災害時には炊き出しができるかまどとして利用できます。

1 編 材料と加工の技術

1 材料の加工

どのようにして、材料から製品を作るのかな。

製品を作るためには、材料を目的の大きさや形に変えたり、組み立てたりする必要があります。これを**加工**と5いいます。加工には、切断・切削、変形、接合などがあります(図2)。

図2 学校の机に使用されている材料の加工の例

切断・切削 切ったり削ったりする机の天板の形・大きさに合わせて、木材を切り、削って整える。

接合 材料と材料をつなぎ合わせる天板と物入れ、脚の部分などをくっつけて固定する。

変形 形を変える機械で、金属の棒を机の脚の形に曲げる。

調べてみよう 身の回りの製品に使われている材料とその加工方法 身の回りの製品を1つ選び、どのような材料を、どのように加工して作られているかを調べよう。

まとめよう 身の回りで使われている材料と加工の技術にはどのようなものがあるかをまとめよう。

QRコードは、見開きごとに設けました。読み取ると、関連するQRコンテンツのリストが表示され、簡単にアクセスできます。

Dマーク 関連するQRコンテンツがある目印です。
▶本誌 p.16-17
▶内容解説資料① 『簡単！使える！東京書籍のQRコンテンツ』

5 活動

6 まとめの活動

